

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

	事業所名	多機能型事業所 いくま（保育所等訪問）	公表日 令和7年3月31日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 ・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		対象児の年齢や発達状況、指導室などの環境を踏まえた教具教材を選択すると共に、使用前の前後には確認を行うよう改善しました。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	訪問支援員は1名が配置されている。利用希望を断ることはないが、実施可能な範囲内に支援機関や頻度を調節しています。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	評価表は今年度が初めての実施。今回の評価表をもとに、必要な業務の改善につなげていきます。また、次年度からは、ケースに応じて多職種による支援体制を図ります。	
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による評価はしていません。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		個別の支援に関して、脳神経小児科医やリハビリスタッフなどの多職種の意見を聞くなどしています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問支援員が1名のため計画書については、児童発達支援管理責任者と共有しています。本計画書に基づいた支援を実施しています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		児童発達支援など、障がい児全般に係る研修会に参加しています。	
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者と支援者間の共通理解を図ることは、保育所等訪問支援の支援目標の一つだと思っています。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	今後は、必要に応じて実施を検討します。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		対象児の実態把握をはじめ、保護者や利用事業所からの聞き取りによって希望、要望を踏まえた計画書を作成しています。対象児本人の意向確認については、必要に応じて年齢や発達段階に応じた機会を設けています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	個別に連絡ノートを作成して、訪問指導の様子をご家族にお知らせするようにしています。	
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報を取扱う重要性を十分認識しています。対象の書類、パソコン内のデータに関しては、共に厳重に管理し、且つ、取扱いには細心の注意を払っています。	
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		連絡ノートを活用している他、必要に応じて電話や対面での報告も実施しています。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報を取扱う重要性を十分認識しています。対象の書類、パソコン内のデータに関しては、共に厳重に管理し、且つ、取扱いには細心の注意を払っています。	
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			

非常時等の対応	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在、拘束を検討する対象児はありません。必要に応じて身体拘束適正化委員会を招集し、検討した上で、やむを得ない場合に限り実施することになります。	